岩石会長

発端は市長・教育委員会からのトップダウンでした。今後問題が起きる前に先手を打つ手法としてコミュニティ･スクールを導入したのだと思います。そのなかで、地域の人同士が顔見知りになり、気軽に声をかけられるような関係づくりも出来てきています。

大國先生

教師の間には、この制度が理解できるまで色々な思いがあったようです。私個人の思いとしては、折角このような機会を与えられたのであればチャンスとして捉え、子どもたちに喜びをあたえることができれば、教師としても喜びになると思っています。

松本校長

地域の方が入ることで教師も成長でき、地域からも理解が増えます。まず行動することが大切と感じました。コミュニティ･スクール導入前は、地域と部分的な関わりはありましたが、導入後は広く関われるようになったのは事実です。単発的なイベントではなく、一年を通して地域の方が学校に関わることができるようになったと思います。加えて地域からの目が学校に入ることで、校長をはじめ教員が課題に対してより真剣に取り組むようになりました。

地域×学校＝みんなが成長！

花田委員長

コミュニティ･スクールを導入して何か変化がありましたか？

松本校長

地域に学校を開くことで垣根が低くなり、家庭・学校・地域のネットワークが互いに広がりました。この学校のグランドは、地域の方に協力していただき芝生を植えました。それにより子どもたちが思いきり遊び、運動することができています。私はこの芝生の管理を通して、仕事を退職しても地域としてこの学校に関わってゆくつもりです。

大國先生

子ども・地域・先生がお互いに喜ぶことができる取り組みが、できつつあります。先生が実際に行動して良かったと思えるような形で継続してゆくことが理想だと思います。

岩石会長

目に見える変化はまだわずかですが、変化してもらわないと困ります。テストの点数ではなく、適応力のある人間として成長してもらいたい。そのためには、保護者が自分の子どもが卒業してからも、地域として学校に関わっていただき、子どもたちがより多くの大人と接する機会になることが大切です。また、コミュニティ･スクールを導入したことで風通しが良くなり、それぞれお互いのことがよく見えるようになりました。更に子どもを通して親にも目を向けられることで、それぞれが考え、成長してゆくことができます。しかし、プライバシーという面では難しいところはあります。

松本校長

ただ、それも見方を変えれば、家庭などで生じる様々な問題が大きくなる前に、対応したり援助したりすることができます。そして住民の間で、子どもは地域の宝として考えられるようになるのが理想です。また今後、学校運営協議会がより成熟してゆき、人事についても地域の意見を反映させることで、より良い教育環境ができてくると思います。

今こそ教育の原点に！

岩石会長

元々この国の学校の生い立ちは、地域の有力者が地域の子どものためとして始めたものでした。それを格差なく安定的に行なうために国が受け持つようになりましたが、画一的な教育の限界を感じ始めた今、「地域で子どもを育む」とゆう原点に戻りつつあるように思います。その手法としてコミュニティ･スクールを導入したことはとても良かったと思います。

大國先生

これを絶好のチャンスと考えて、できる所から実行してゆきます。そして学校に参画される大人が増えてゆくことで、子どもたちとのふれあいが大きくなるとうれしいです。

地域の教育力向上委員会
委員長　花田　章浩

このように、出雲市では「コミュニティ・スクール」を導入することで、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを育む環境ができました。また、学校の先生や地域の大人が、これを「チャンス」と捉え前向きに取組まれておられます。三原市の学校にもこの制度が導入されれば、同様に家庭・学校・地域が一体となり、同じ方向を目指して子どもたちを育んでゆくことができるのではないでしょうか。三原の宝である子どもたちのために、早急に導入することが望ましいと考えます。

まずは「学校の応援団」として学校運営協議会を各学校に設置してゆけるよう、地域の皆様も一緒に取組んでゆきましょう。

～すべては子どもたちの明るい未来のために～

全小学校で取り組む「やっさ踊り」を目指して！

皆さんは三原といえば何を思い浮かべますか？三原も広くなり各地域でいろいろなものがあると思いますが、三原市全域で考えるとやはり「やっさ踊り」ではないでしょうか。

三原市も本郷、久井、大和と合併をして市内全域での一体感をもってゆかなければなりません。そして市内全域の子どもたちの三原に対して郷土愛を育んでゆかなければなりません。三原の伝統芸能である「やっさ踊り」は一体感を持ち、子どもたちの三原市に対する郷土愛を育んでゆくための最良の手法ではないでしょうか。以前は町内会や、子供会が主となり、多くの子どもたちがやっさ踊り、子どもたちにやっさ踊りを継承する場となっていた。現在は町内会や子供会といったコミュニティが存在しなかったりしてそういった場でやっさ踊りを踊っている子どもは減っているように感じます。そこで、学校教育で「やっさ踊り」に取り組んでゆくことで、子どもたちがやっさ踊りの歴史や伝統を通して三原の歴史を学び、そしてやっさ踊りを踊ってゆくことで子どもたちの三原に対する郷土愛を育んでゆき、三原に誇りをもてるのではないでしょうか。そしてそれは次世代に伝統芸能「やっさ踊り」を継承してゆくことになるのではないでしょうか。現在、各小学校でやっさ踊りに取り組んでいる学校もありますがまだまだ限られた学校でしか取り組まれていないように思います。しかし、これは全小学校で取り組んでゆかなければならないことだと思います。

本年度（社）三原青年会議所では子どもたちの郷土愛を育み伝統芸能「やっさ踊り」を次世代へ継承してゆくため、市内全ての小学校で「やっさ踊り」に取り組みを行ってゆくことを目指して、本誌で「やっさ踊り」を通じて市内全域で一体感をもち、三原の子どもたちの郷土愛をより強く育んでゆき、そして次世代を担う子どもたちに「やっさ踊り」を継承してゆくために、各地域や、学校で「やっさ踊り」の取り組みについて追いかけてゆき、その必要性を訴えてゆきます。

このまちの全ての子どもたちが参加できる「やっさ祭り」に向けて！

三原に住む子どもたちすべてに、この三原市の伝統文化である「やっさ踊り」に触れて頂くため、第33回三原やっさ祭り実行委員会で、子どもたちがやっさ祭りに参加しやすい環境をつくるための取り組みを進めています。そこで、第33回三原やっさ祭り実行委員会佐藤実行委員長にお話を聞きました。

本年度（社）三原青年会議所では三原の伝統芸能である「やっさ踊り」を通じて子どもたちの郷土愛を育んでゆくため、全小学校の教育の場で「やっさ踊り」に取り組んでゆかなければならないと考えています。第33回三原やっさ祭り実行委員会では子どもたちが「やっさ祭り」に参加しやすい環境を作ってゆくためにさまざまな取り組みをされていますが、どのような経緯でこのような取り組みを企画されたのですか。

佐藤実行委員長

現在様々なものが発達し、スピード社会と言われる今、子どもたちを取り巻く環境も目まぐるしく変化し、多くの問題が起きている事は否めません。そこで三原の伝統文化でもある「やっさ踊り」の歴史文化や踊りを体感する事を通して、子ども同士のふれあい、地域とのふれあい、学校とのふれあいを更に充実させる事で、各々の関係が強固になり、良い方向へと導く手助けになってゆくものと考えました。また、やっさ踊りを通じて、三原市の将来を担う子どもたちが、自分達の住むまちへの愛情、愛着を持ちながら成長してくれる事が出来れば、どんなに素晴らしいことでしょうか。その結果、子どもたちは自分達のまちを誇り思いながら成長してゆき、将来この三原を元気にしてくれる原動力となって活動してくれる事と考え、この取り組みを行っています。是非、三原の子どもたちがやっさ踊りに触れ、やっさ祭りに参加することが出来るよう、我々実行委員会も最大限のサポートを考えておりますので、地域・PTA・教職員の皆様のご協力を、よろしくお願い致します！

やっさ踊りという伝統ある文化を通して、自分達の住むまちの郷土を知り愛着を持つ事が、今後の三原を担ってゆく子どもたちにどれだけ必要な事なのか・・・

やっさ祭りという三原の祭りに参加して、努力や感動、喜びや悔しさを参加者全員で体感出来る事の素晴らしさが、子どもたちにどれだけ必要な事なのか・・・

子供たちと一緒にやっさ祭りに参加しましょう!!

～子ども参加のための支援策～

安　全	イベント保険を完備　誘導員配置 救護箇所・看護士待機
準備物	要望があれば衣装は貸出　その他備品も提供 花車不用　給水ポイント設置
参加費	無料
交　通	送迎の相談を受付けます
時間帯	こどもやっさの部は17:00～19:00の間で開催
踊　り	要望があれば講師を派遣　練習ビデオ等提供

その他出来る限りの支援を本年度は行ってゆきたいと思いますので、詳しくは下記までお問い合せください。折返し担当者よりご連絡させて頂きます。

三原やっさ祭り実行委員会　事務局
TEL　0848-62-6155
FAX　0848-62-5900
〒723-8555　広島県三原市皆実4-8-1
（三原商工会議所内）
※公式ホームページの掲示板でも質問意見を受付けます
http://www.yassa.net/

本紙“やっさもっさ”は、ここに掲載の企業のご協力と㈳三原青年会議所の自主財源で発行しています。

月見幼稚園　益谷建設㈱
翼介護サービス　松尾社労士事務所
つぼみの鶏ねんじ　松野商店
㈱鶴田電設　コンサルタント㈱マネジメント・ブレインズ
ディアナ～月～マミー化粧品　丸三商事㈱
デオデオヒラハシ電機　スナックマリア
くし焼き　狭
ホテルトーダイ　おしゃれサロンマルゼン
㈲東亜不動産　㈱みどり商会
和食処登喜将　みどり書店
㈲中川広告（中川の義さん）　三原カンツリークラブ
中間醸造　三原郷心会
中村電工　㈱三原国際ホテル
なぎさ医院　内科・皮膚科　みはらし代行
食遊和（なごみ）　三原ホテル
お好み焼・鉄板焼・スナック　なつ芽　三原重量㈲
ラウンジ奈菜　㈱三原スーパー
なんばレディースクリニック　三原末広簡易郵便局
三原総和㈲
矯みの鶏ねんじ　三原ターミナルホテル
ナンバ洋服店　エム・ライン三原テレビ
皆実町㈲灰谷鉄工所　㈱三原美装社
博善社みやうら会館　三好印刷㈱
㈱原アルミ建材　むねひろ歯科クリニック
HARAJIN㈲　村上鉄工所
㈲半さん　盛影塗装㈱
ビストロSOBO　㈱森川観光グループ
TKC松山税理士事務所　森　剛
平木商店　天ぷら割烹　もみぢ
スタンド　ひらた　㈱やっさ石油
平田歯科医院　㈲
広島電気工事㈱
㈲ファースト
ラウンジ　ファースト
㈱ファミリー歯科診療所　ファミリーひらた
ファミリーレストラン太陽樹宮浦店　㈱富屋
㈲藤井建設　㈱井
富士金属工業㈱　藤井ビジュアート
寝・生活館よしなが　㈲吉岡建具製作所
㈲レップス　㈲吉井ビジュアート
中華レストラン北京　㈲
ヤマダ電機コスモス・ベリー三原宮浦店　㈱山田脳神経外科
下町の居酒屋六文銭　㈱山本衣料
本郷建材工業㈱　㈱ヤマナ
ホンダカーズ三原皆実　㈲渡辺商会
㈲本田石材工業　渡辺土地建物㈲
㈱まじま製麺　買・売・質　わたべ

上葉献銘　三原の味です名物です
ヤッサ饅頭
本舗

ISグループ　㈱クラーク矯正歯科
アイ ウィル土居写場　㈱倉橋匠栄堂
アオイ福原　㈱クリエイティブ・ライフ
㈱赤石硝子建材　グロッタアッズーラ
㈱Ⓐ赤谷木材　コーナーインザバー
㈲安芸緑化機材　藝陽日日新聞社
浅田公認会計士事務所　㈱仁康会　小泉病院
朝日火災海上保険㈱広愛産業　㈱
玄米精乳　朝日養素　見栄不動産　㈲
あなたのまち郵便局　河城石材店
あまの歯科・矯正歯科クリニック　広陽フッソ産業㈱
イオン㈱・ジャスコ三原店　㈱コーダマヤ
イーグル店　㈱小西豆腐店
糸崎木材　㈱コバックス
スナック・お好み焼いろは　㈱コマツ
スナックインロード　小松木工㈱
上田製版印刷所　㈱サービスセンター
上田鉄工　㈱サーブインターナショナル
おばんざいうさぎ　㈱阪井養魚場
㈱ウツミ　佐竹工業㈱
うなや中　㈱サツキ工業
宇野税理士事務所　㈱澤井製作所
サイクルショップうらさき　三基工業㈱
NRK保険事務所㈲　三協立山アルミ㈱三信
NRKGmbH　エヌワイティグループ　三陽環境管理㈱
㈲えびす家山陽建設㈱
MSTUDIO㈱　山陽高速印刷㈱
エルサ山陽製粉㈱
大崎汽船　㈱シゲモリ本店
大東印刷㈱　CBテクノロジー㈱
大成土地家屋調査士事務所　JT日本たばこ産業㈱
岡本組　しまなみ信用金庫
㈲オギロバン　シャトー・ラフォン・ロシェ
スナックおしゃれ泥棒　㈲創
㈲お茶の平野園　住寺
オートドリーム三原　㈱正田文華堂
小野税理士事務所　城南観光㈲
帯ジュエリーサロンまつば　ピアノラウンジ
カールトン　新宅建設㈱
かえで　㈱スミダ
㈲笠下工務店　㈱セイム
親切ギフト　かつはら　セブンイレブン三原駅前店
勝原不動産　セブンイレブン三原宮沖店
勝村商店　㈱大日ヘルスショップ
勝村木材　㈱高山ペットショップ
レストラン　かねしょう　㈲タクトコーポレーション
カネダ漢方薬品㈱　田中運輸㈱
㈱カネツナ　㈱田中組三原支店
㈱上田商店　田辺製麩工場
㈱ガルバ興業三原工場　タニグチ
関西通商㈱　㈲多森薬局
関西薬品㈱　ラウンジちか
共立電機産業㈱　㈲中央地所
共和不動産㈱　チキヤン・ルクス303
喰いしんぼう　㈱中国新聞サービスセンター
政塚本